ひと ひと
女と男の情報紙

HIMAWARI
Women & Men Information

ひまわり

Vol.26
2018.9.1

特集

男女共同参画社会の実現に向けて
子育ても仕事もポジティブに
～男女共同参画の視点から～



ちぎり絵「みんなのひまわり」
社会福祉法人むさしの郷「ながい寮」の皆さんの作品

第39回 フォーラムくまがや2018のお知らせ



菊地　幸夫　氏

元司法研修所刑事弁護教官。現在、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団理事も務める。また、日本テレビ「行列のできる法律相談所」「スッキリ」にレギュラーとして出演。弁護士業務の傍ら体力作りにも勤しみ、各地のトライアスロン大会へも出場。地元小学生のバレーボールチームの監督等も務める。

★講演　**菊地　幸夫**（弁護士）
『出会いの人生から学んだこと』

★**さや茶**（さーや＆茶々）
お風呂屋さんで働くアイドルOFR48
(オーエフアールフォーティーエイト)の派生ユニットによるオープニングステージ

★**第13回熊谷市男女共同参画推進表彰**

11月24日(土)
・午後１時から(入場無料)
・熊谷市立文化センター文化会館
(熊谷市桜木町二丁目３３番地２)

＊手話通訳あり
＊託児あり（２歳以上の未就学児/要予約）
※未就学児の入場は不可

主催：熊谷市・熊谷市男女共同参画審議会
共催：くまがや共同参画を進める会



「さや茶」

【入場申込み】　電話・FAX又はEメールで下記へ氏名・住所・電話番号・入場人数をご連絡ください。
申込者が500人（定員）になり次第、締め切ります。
＊先着順に入場券を郵送します。
＊男女共同参画室・本庁舎（市民活動推進課）・各行政センター（地域振興係）の窓口でお申込みの際は、受付時に入場券をお渡しします。

熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
電　話：048-599-0011　FAX：048-599-0012
Eメール：市ホームページからお申し込みください。

特集

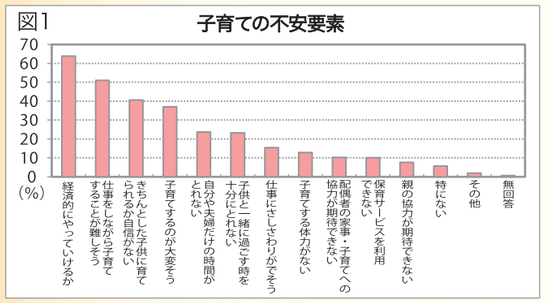
子育ても仕事もポジティブに
～男女共同参画の視点から～

子育て中のママとパパは、仕事と育児に忙しく、てんてこ舞い。女性の社会進出が進み、夫婦共働きの家庭が増えています。夫婦だけで子育てをしようと考えてしまうと仕事も育児も行き詰ってしまうもの。今回は、共働きのご夫婦にどのように時間のやりくりをしているのかお話を伺い、困ったときのサービスについて紹介します。

今、日本は少子化が進んでいます。合計特殊出生率は、1975年に2.0を下回って以降、2005年には過去最低である1.26まで落ち込みました。近年、微増傾向が続きましたが、2年連続で0.01ポイント減少し、2017年は1.43となっています。合計特殊出生率が下がっている原因には、経済的な不安定さや長時間労働、仕事と子育ての両立の難しさ、子育て中の孤立感や負担感など、様々な要因が絡み合っています。

平成26年度内閣府が行った「結婚・家族形成に関する意識調査」（図1）によると、半数以上の人が「仕事をしながら子育てすることが難しそう」と考えています。また、「子育てするのが大変そう」「仕事にさしさわりがでそう」と考えている人もおり、子育ては大変なもの、仕事に打ち込めなくなってしまうといったイメージが強いようです。

図1 子育ての不安要素

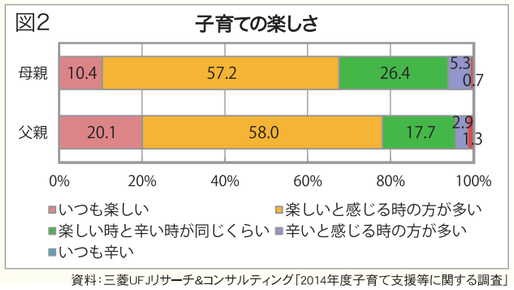


資料：平成26年度内閣府「結婚・家族形成に関する意識調査」

しかし、実際に子育てをしている人に子育ての楽しさについて質問してみたところ（図2）、子育てを楽しい（「いつも楽しい」「楽しいと感じる時の方が多い」）と感じている人は、父親は78.1％、母親は67.6％と結果が出ています。約7割の親が、子育ては楽しいと思っていることがわかりました。

熊谷市では、夫婦共に働きながら子育てをしたい家庭を応援する、様々な子育て支援事業を設けています。妊娠中から出産、子育てと切れ目ない支援の提供を目指し、「子育てするなら熊谷市」と思ってもらえるまちづくりを進めています。

図2 子育ての楽しさ



資料：三菱UFJリサーチ&コンサルティング「2014年度子育て支援等に関する調査」

子育てサービス

【その1】
地域子育て支援拠点

子育て中のママやパパが気軽に利用できる場所です。遊びの場としてだけでなく、子育て中の不安を専門の先生に相談できたり、セミナーなどもあるので、楽しくサポートしてくれる身近な施設でもあります。市内に19か所あります。

※市ホームページから「子育て支援拠点」で検索

【その2】
ファミリー・サポート・センター

「育児の援助を受けたい人（依頼会員）」と「育児の援助に協力できる人（援助会員）」がそれぞれセンターに登録し、必要なときに会員同士で子育ての援助活動（有償）を行うものです。

○援助を受けられる主な場合

・保育施設の開始前や終了後に子どもを預かってほしい場合
・保育施設までの送迎をしてほしい場合
・学校の放課後や学童保育の終了後に子どもを預かってほしい場合
・その他一時的な事情で子どもを預かってほしい場合など

熊谷市社会福祉協議会熊谷支所
☎048-521-0999

【その3】
病児保育・病後児保育

子どもが病気、または病気回復期のため集団生活が困難な時期に、保護者の就労・病気等のやむを得ない理由により家庭で保育できないときに、医療機関や保育所にて一時的にお預かりする事業です。

【病児保育室】
医療生協さいたま　熊谷生協病院「こぐまちゃんち」
☎048-524-3841

【病後児保育室】
学校法人県北若竹学園　箟原のこキッズ保育園
☎048-531-3901

【その4】
熊谷市休日・夜間急患診療所

熊谷市医師会、熊谷市歯科医師会の医師が、交替で主に内科的疾患及び歯科の比較的軽症な方の診療を行っています。

内科・小児科
☎048-525-2720
歯科
☎048-525-2721

※各サービスの詳細は、電話にてお問い合せください。



まとめ

今回は、子育てと仕事の両立について考えていきました。

芝崎さん一家は、共に家事、育児、仕事をこなす、素敵なご家族でした。

仕事と家事育児の両立は、それぞれの家庭にそれぞれのスタイルがあります。どれが正解というものはありません。子育て支援制度を利用したり、祖父母や地域の力を借りたり、一人に負担がかかりすぎないよう模索することが大事。そして感謝の気持ちを大切に。

インタビュー

《共に働き、熊谷で子どもを育てる》

生き方が多様化する今、家族の形、生活様式は様々です。今回は、夫婦共に正社員として働き、子育てをしながら、熊谷で生活するご家族の一日をのぞかせていただきました。

熊谷市末広在住
夫　芝崎稔さん（42才）市内の保険代理店勤務
妻　愛さん（41才）損保会社熊谷支店勤務
子ども　あおい君（4才）保育園通園

《芝崎ファミリーのある平日の一日》

AM 6:00	㊍㊐起床
	㊐洗濯
	2人で朝食準備
6:30	あおい起床
	3人で朝食
7:00	㊐洗濯物干し
	㊍朝食後片付け・あおいの歯磨きと整髪
	㊐あおい身支度と保育園準備
	2人、各自出勤準備
7:45	㊐あおい園バスの送迎後出勤
8:00	㊍出勤
	2人仕事
PM 4:00	祖父母あおい迎えそのまま祖父母宅
6:00	㊐祖父母宅へ迎え
7:00	㊐あおいと帰宅
	㊐夕食準備
	㊍帰宅（遅い日も）夕食
	㊍夕食後片付け
8:30	㊍あおいと入浴
9:15	あおい就寝
11:00	2人就寝





◆共働き夫婦の朝って忙しいですよね。芝崎さんご夫婦は、上手に役割分担していらっしゃいますね。

（稔さん）私の帰宅時間が遅いことも多いので、家族一緒にいられる朝の時間は大事です。朝食は必ず三人で食べるようにしています。家事を二人でやればその時間が作れます。私は料理とか、食器洗いとか台所に立つのは嫌いじゃないんです。でも、洗濯とかは苦手で…。話し合ったわけではないですが、洗濯は妻、食器洗いは私、と自然にそうなりましたね。

（愛さん）子どもが生まれる前から、家事は二人でやっていました。夫は前日帰宅が遅くても、朝は一緒に起きて一緒に家事をしてくれるので、とても感謝しています。

◆その他に工夫されているところは？

（二人）冷蔵庫にカレンダーを貼って、三人のスケジュールを書き込むことくらいかな？

（愛さん）忙しくてお互いのスケジュールを聞いても忘れてしまうことがあるんです。保育園の予定も書いて、二人の予定が合う時はなるべく二人で参加します。夕飯を作っておいたのに「外で食べたから要らない」とか言われるとイラっとしますけど、予定表に書いてあればそういうことがない。イライラ防止です。



◆熊谷での子育てはいかがですか？

（稔さん）「熊谷市休日・夜間診療所」は助かっています。ただ、息子が夜中に具合が悪くなった時、救急医療情報案内に相談したり、救急車を呼んでも対応してくれる病院がなく、不安な一夜を過ごしたことがあります。夜間でも子どもを受け入れてくれる病院があればと思います。

（愛さん）熊谷市だけではなく、保育園は4月が入園しやすい。私も育児休暇は子どもが2歳になるまで取れるのですが、繰り上げて息子が2歳になる前の4月に入園させました。いつでも入園しやすくなると、安心して仕事と子育てを両立できると思います。

（稔さん）子どもが生まれる前、保育園の園長先生や子育て支援団体の代表の方と知り合いになり、子どもが生まれたら妻をどうサポートしたらいいかアドバイスを頂く機会があったのも、参考になりました。

（愛さん）二人とも今、職場が熊谷市にある職場です。また、お互いの実家が隣市なので、保育園のお迎えや、子どもの具合が悪くなった時に預かってもらうなど、とても助かっています。祖父母や保育園の先生方など、私達二人以外にも子育てに携わってくれる大人の手があるというのは本当に心強いです。

（稔さん）中央公園やスポーツ文化公園によく行きます。いろいろな遊びができるようになっていて、子どものおかげで元気をもらえています。



輝いてます！ 街で出会ったいきいきさんをご紹介します

ご縁を結ぶ手づくり市

高柳紀子（たかやなぎのりこ）さん（妻沼）
ビジネスプランコンテスト最優秀賞受賞（平成27年度）



妻沼、国宝の聖天様のお膝元、縁結び通りで開かれる「手づくり市」の賑わいをご存知ですか。地域の方々が、2万人を超えるお客様をお迎えする大イベント。

発起人、高柳紀子さんは、大福茶屋さわたのお店を運営しながら、「どのようにしたら人を呼ぶことができるのか。」と考えていたところ、たまたま出かけた京都の街で青空市に出会い、出店者もお客様もざっくばらんに会話ができて自由に老若男女が楽しむさまに、「私もワクワク気分になって、こんなことができたらいいな。」と思ったそうです。

店内ギャラリーに集まった作家さんたちに、「作品をみんなで一緒に展示販売したいね。」と声をかけたのがきっかけで「手づくり市」が産声を上げました。

第2回は聖天様の境内をお借りしての開催でしたが、途中からあいにくの雨模様。どうしたらいいのかと困っていると近隣の店舗や住民の方に、「家の軒先を使っていいよ。」と声をかけていただき、本当に助かったとのことです。それを契機に、地域の皆様のご賛同とご協力をいただくようになり、現在は10月20日(土)21日(日)開催予定の第22回手づくり市の準備に余念がありません。

「ご縁の町だと思います。人が人を呼ぶ。より多くの人が、この縁結び通りで幸せな時間を過ごせますように、楽しみの種まきを続けていきたいです。そして何より嬉しいのは、このコーナーに地域の方が推薦してくださったことです。」

聖天様と地域の方々に感謝しながら笑顔で話してくれました。



手づくり市の様子

◆「ひまわり」編集員公募のお知らせ

本紙「女(ひと)と男(ひと)の情報紙ひまわり」の編集員を募集します。

募集人員 1人
応募資格 市内在住の20歳以上の方で、男女共同参画に関心があり、左記の活動ができる方
活動内容 ①編集員会議(毎号3回・平日の午前中) ②取材活動(随時) ③原稿の作成
委嘱期間 2年間
応募方法 応募動機と男女共同参画の推進に向けた考えを800字以内にまとめ、住所・氏名・生年月日・職業・電話番号を明記し、10月12日(金)までに熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」へ直接ご提出ください。

宮川 正夫さん(拾六間)の作品

「ひまわり」



「女と男のセミナー」が行われました

男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室で、6月16日、23日、30日の3週にわたり「男女共同参画あれこれ」と題してセミナーが行われました。

初回の講座は、女性史研究家の山内惠氏による「女性の視点から歴史を読み解く」。2回目の講座は、税理士の藤野佳子氏による「知っておきたい相続の話」。最終講座は、弁護士の加藤道子氏による「知って得する身近な法律」。

誰もが経験するような身近なテーマであり、質疑応答も活発で予定時間を大幅に超える盛況ぶりでした。

例えば、老朽化した空き家を更地にすると、固定資産税額が高くなるそうで、これも手つかずの空き家が点在する一因なのかなと思いました。



ひとりで悩んでいるあなた、一度相談してみませんか？

◆ハートピア相談室 ☎048-599-0015

相談名	相談日	時間
電話相談・面接相談（予約不要）	月～金曜日、第1・第3土曜日（祝日、年末年始を除く）	9:00～17:15
弁護士による相談（要予約）	隔月1回（奇数月）	10:10～11:40
臨床心理士による相談（要予約）	毎月1回（第4金曜日）（祝日の場合は変更）	9:00～16:00
保健師による相談（要予約）	毎月2回（第2・第3水曜日）（祝日を除く）	13:30～15:30

（各相談とも無料・秘密厳守）

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの暴力(DV)に悩んでいる方、どんな小さなことでも、相談員がお聴きし、一緒に考えます。

募集

★表紙やカットとして掲載する「ひまわり」の絵・写真・その他の作品を募集します。
★「輝いてます！」（市内で活躍されている方の紹介）のコーナーに登場してくださる方を募集しています（自薦・他薦は問いません）。
※両募集とも、応募多数等により掲載にならない場合がありますが、どうぞご了承ください。
★本紙へのご意見、ご感想をお寄せください。

【応募・問い合わせ】
〒360-0037
熊谷市筑波二丁目202番地ティアラ21（4階）
熊谷市男女共同参画推進センター「ハートピア」
・TEL 048-599-0011
・FAX 048-599-0012

編集後記

何となく余裕のない生活。できない事に不満を言うより、できる事に目を向けて、褒めて、感謝しあっていきたいですね。仕事でも、家族でも、そして自分にも。　秋元　留美子

大盛況の「手づくり市」明るく気さくなあの笑顔が、人と人のご縁を結んでいると思いました。　清水　治美

気管支炎が続き、取材を欠席させて頂きました。久方に息子が「買物」と「食器洗い」。別住まいの6か月の孫からは「可愛い写真」が電送されてきました。家族内の参画はできたのかな。　柴生田　幸子

今回、男女共同参画の現状や必要性について学ぶ事が出来ました。これまで以上に女性が個性を発揮し、活き活きと活躍出来る社会の実現に少しでも貢献していきたいと考える機会を頂きました。　折原　芳郎

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆インキ

■発行日　平成30年9月1日（年2回発行）　■発行　熊谷市　■編集　男女共同参画室（ハートピア内）・「ひまわり」編集員会
「ひまわり」Vol.26は、71,000部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり4.50円です。